

機能性とデザイン性を両立で開発

B to C市場を開拓

「社内の改革」も重点課題

2023年3月に株式会社ミワックス新社長に就任した美馬徹也氏に今後の注力事項や目指したい企業像についてインタビューした。

美馬氏は、ミワックスの会社プロフィールを教えてください。

ミワックスは昭和21年(1946年)に創業、私の祖父であり創業者の美馬利吉が日本で初めて静音性の高いゴム製の「麻雀マット」を開発、大ヒット商品となり玩具ルートに販路を広げま



革新的なメカクシデスクマット

「はじめに、ミワックスの会社プロフィールを教えてください。」

「はじめに、ミワックスの会社プロフィールを教えてください。」

「「ザ・コンパクトウォレット」は、透明なビニールの端材で作ったシンプルでミニマルな財布です。将来的には、筆記具メーカーさんの取り組みのように、使用済みのデスクマットを社内回収して、再生する好循環を作り出すことができると思っています。」

「「ザ・コンパクトウォレット」は、透明なビニールの端材で作ったシンプルでミニマルな財布です。将来的には、筆記具メーカーさんの取り組みのように、使用済みのデスクマットを社内回収して、再生する好循環を作り出すことができると思っています。」

「「ザ・コンパクトウォレット」は、透明なビニールの端材で作ったシンプルでミニマルな財布です。将来的には、筆記具メーカーさんの取り組みのように、使用済みのデスクマットを社内回収して、再生する好循環を作り出すことができると思っています。」

「「ザ・コンパクトウォレット」は、透明なビニールの端材で作ったシンプルでミニマルな財布です。将来的には、筆記具メーカーさんの取り組みのように、使用済みのデスクマットを社内回収して、再生する好循環を作り出すことができると思っています。」

「「ザ・コンパクトウォレット」は、透明なビニールの端材で作ったシンプルでミニマルな財布です。将来的には、筆記具メーカーさんの取り組みのように、使用済みのデスクマットを社内回収して、再生する好循環を作り出すことができると思っています。」

「「ザ・コンパクトウォレット」は、透明なビニールの端材で作ったシンプルでミニマルな財布です。将来的には、筆記具メーカーさんの取り組みのように、使用済みのデスクマットを社内回収して、再生する好循環を作り出すことができると思っています。」

トップインタビュー

株式会社ミワックス

代表取締役社長 美馬 徹也氏



1981年4月25日生まれ。2023年2月に国内で初めて透明ビニール製デスクマット、カッティングマット、ゴム製麻雀マットを商品開発した株式会社ミワックス(東大阪市)の3代目社長に就任。「MIWAX」ブランドを旗印に新しいものづくりに力を入れ、機能性とデザイン性を両立したプロダクトを開発、B to C市場の開拓にも注力している。「社内の改革」を重点課題に、持続的発展を目指す。

「「ザ・コンパクトウォレット」は、透明なビニールの端材で作ったシンプルでミニマルな財布です。将来的には、筆記具メーカーさんの取り組みのように、使用済みのデスクマットを社内回収して、再生する好循環を作り出すことができると思っています。」



ライフスタイルブランド「HUMANMADE」とのコラボによるデスクマット

「「ザ・コンパクトウォレット」は、透明なビニールの端材で作ったシンプルでミニマルな財布です。将来的には、筆記具メーカーさんの取り組みのように、使用済みのデスクマットを社内回収して、再生する好循環を作り出すことができると思っています。」

「「ザ・コンパクトウォレット」は、透明なビニールの端材で作ったシンプルでミニマルな財布です。将来的には、筆記具メーカーさんの取り組みのように、使用済みのデスクマットを社内回収して、再生する好循環を作り出すことができると思っています。」

「「ザ・コンパクトウォレット」は、透明なビニールの端材で作ったシンプルでミニマルな財布です。将来的には、筆記具メーカーさんの取り組みのように、使用済みのデスクマットを社内回収して、再生する好循環を作り出すことができると思っています。」

「「ザ・コンパクトウォレット」は、透明なビニールの端材で作ったシンプルでミニマルな財布です。将来的には、筆記具メーカーさんの取り組みのように、使用済みのデスクマットを社内回収して、再生する好循環を作り出すことができると思っています。」

HAGURUMA

